

# いわき産コシヒカリ『Iwaki Laiki』

◆平成28年産浜通りコシヒカリが11年ぶりに「特A」を獲得  
 ◆プレミアムいわきライキは「特A」産地のさらに厳選された極上米



「Iwaki Laiki (いわきライキ)」は、いわき産コシヒカリのブランド米。家庭用「Iwaki Laiki」と贈答(ギフト)用の「Premium Iwaki Laiki」の2種類から成る。市やJ A、卸等で構成する「いわきライキ戦略ブランド化推進本部」は、昨年12月1日から米のスペシャリストが生産し、品質を厳選した「Premium Iwaki Laiki (プレミアムいわきライキ)」の発売に入った。市内の量販店(マルト、イオンいわき店等)やJ A福島さ



▶贈答(ギフト)用の「プレミアムいわきライキ」



▶家庭用の「いわきライキ」

くらの農産物直売所等が2000袋(4000キ)の数量限定で販売を開始し、今年3月末でほぼ完売状態となっている。

「プレミアムいわきライキ」は、米・食味鑑定士協会が認定する米のスペシャリスト「プレミアムライセンスクラブベストファーマ



▶安島美光さんは、プレミアムライセンスクラブベストファーマーの一人

ー」6名が生産するコシヒカリ。低タンパク(タンパク質含有率6.4%以下)で、2・0ミ<sup>3</sup>ふるい目幅で選別されており、粘りが強くうま味がしっかりした高品質・良食味に仕上げた。全国流通している有名ブランド米の品質基準より、さらに厳しい要件を設定した。市町村単位のブランド米で、生産者をベストファーマーに限定した取り組みは国内で初めて。

昨年11月25日の完成発表会では、スパリゾートハワイアンズダニングチーム「フラガール」のメンバーといわき農産物マスコットキャラクター「アグリ☆ファイブ」の「くまんま」が商品をお披露目。同推進本部では、「甘み、つや、粘り、食感など、どれも最高。贈答用等に使ってほしい。首



◀プレミアムいわきライキ発表会でいわき農産物マスコットキャラクター「くまんま」が来場者を出迎えた（昨年11月25日、いわきワシントンホテル・椿山荘）

都圏でのPRも目指しプレミアム米を作った。さらなるブランド確立といわき米のイメージ回復・風評払拭に取り組む」と語る。

「プレミアムライセンスクラブベストファーマー」の一人、安島美光さん。市内で12社経営する安島さんは、第18回米・食味分析鑑定コンクール（熊本県菊池市で開催）で特別優秀賞を受賞した（栽培別部門の「JAS・JAS転換中」。平成20年産から毎年出品し、自家製肥料等を投入しながら有機栽培に取り組む。「有機栽培は除草に気を使う。毎年いろいろなやり方にチャレンジしている」と語っていた。なお、「いわきライキ」は大震



◀都内で開かれたいわき産コシヒカリの販促キャンペーン（2月3～4日、イトーヨーカドー武蔵小金井店）

災後、今年2月から初めて都内で販売がされた。2月3～4日、イトーヨーカドー武蔵小金井店（東京・小金井市）で販促キャンペーンを展開、PR用品等を訪れた人に配布し周知に努めた。都内での販売再開は、いわき観光まちづくりビューローと小金井市商工会との交流が大きな契機となった。

●「特Aプロジェクト」が発定

いわきライキ戦略ブランド化推進本部は、一昨年2月に「いわき産コシヒカリ特Aプロジェクト」を立ち上げた。県やJA等と連携しながら食味ランキング「特A」獲得に向け、土壌分析や施肥設計、基肥の資材施用、肥培管理等にさまざま検討を加え良食味づくりを進めてきた（3名の生産者がほ場を限定して取り組む）。そんな取り組みが功を奏し、いわき地区を含む平成28年産浜通りコシヒカリは、（一財）日本穀物検定協会による食味ランキングで最高の「特A」評価となった。実に11年ぶりの快挙で、ブランド回復の追い風になりそうだ。